



災害から命を守るために備えましょう

初夏から秋にかけては水害が発生しやすい季節です。水害はまだ大丈夫と思っても、急激に状況が変化することがあります。危険が迫ってからでは手遅れになることもありますので、異変を感じたらすぐに対応できるよう日頃から準備をしておきましょう。

災害に備えた事前確認

①避難所・緊急時避難場所や危険箇所の確認

自宅からの避難所・緊急時避難場所や周辺の危険箇所について、ハザードマップなどで事前に確認しましょう。また、避難する経路の安全確保も重要です。

②自宅での安全確保

自宅での安全が確保できる場合は、在宅避難を検討しましょう(2階以上へ垂直避難)。

③避難する場所の検討

市が指定した避難所・緊急時避難場所だけでなく、災害の危険がない市外の親戚や友人・知人の家などへの避難も検討してください。

④衛生管理に必要な物資などの避難所への持参

避難所では衛生用品を十分確保することが難しくなります。健康面や衛生面の観点から、避難所へ携行する物(食料や水など)に下記のものも加えて持参してください。

- ・マスク(タオルなど)
- ・体温計
- ・アルコール消毒液
- ・ティッシュ、ペーパータオル、ウェットティッシュ
- ・ポリ袋
- ・常備薬
- ・スリッパ
- ・着替え
- ・つめ切り など



⑤緊急時避難場所に必要な物資などの持参

一時的に命を守る緊急時避難場所は、屋上など屋外のところが多くあります。雨具や防寒対策となる資材についても非常持出袋へ準備し、避難の際は携行しましょう。

- ・雨具(傘、雨合羽)
- ・防寒用具(防寒アルミシート、使い捨てカイロ) など

自分の住んでいる場所が避難の必要がある場所か確認する

市では、国、愛知県、気象庁と連携を取り、気象情報に注視しながら、命の危険が及ぶ場合には、いち早く避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、皆さんに避難をお願いします。

避難情報を発令した場合には、市内の避難所を随時開設しますが、自宅の2階以上へ避難(垂直避難)することも大変有効となります。

弥富市が発令する避難情報

気象庁および市が発令する避難情報につきましては、以下の表のとおりとなります。

警戒レベル (洪水・土砂災害)	状況	市民の行動	避難行動を促す情報
警戒レベル 5 <small>既に災害が発生している状況です</small>	災害が発生 または切迫	命の危険、 直ちに安全確保	緊急安全確保
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~			
<b>警戒レベル 4</b>	災害発生の 恐れが高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
<b>警戒レベル 3</b>	災害発生の 恐れがある	危険な場所から 高齢者らは避難	高齢者など避難
<b>警戒レベル 2</b>	気象状況悪化	避難に備え、 ハザードマップにより 自らの避難行動を確認	洪水注意報、 大雨注意報など
<b>警戒レベル 1</b>	今後気象状況 悪化の恐れ	最新情報に注意するなど 災害への心構えを高める	早期注意情報 (警報級の可能性)

市が、災害の恐れがあり避難が必要と判断した場合は、避難情報(警戒レベル3以上)を発令し、同報無線、携帯電話の緊急速報メール、弥富市安全・防災メールなどを通じて市民の皆さんにお伝えします。

避難情報(警戒レベル3以上)が発令される前でも、自主的に判断して、早めの避難を心がけましょう。

## 情報を早めに入手してください

### ◎情報を入手する手段

テレビ、ラジオ、同報無線、安全・防災メール、緊急速報メール、防災アプリ、広報車両による避難広報、市ホームページ、市公式LINE、近隣の方との声掛け

### ◎どんな内容を見聞きすればよいか

- ①気象情報
- ②避難行動情報
- ③避難所開設状況
- ④わが身に影響を及ぼす被害状況

### ◎弥富市安全・防災メールの登録はこちらから

PC・スマートフォン  
の場合



フィーチャーフォン  
(ガラケー)の場合



### ◎直近の同報無線(防災行政無線)を聞き直したい場合

**「(0567)65-8517」** におかけください。

